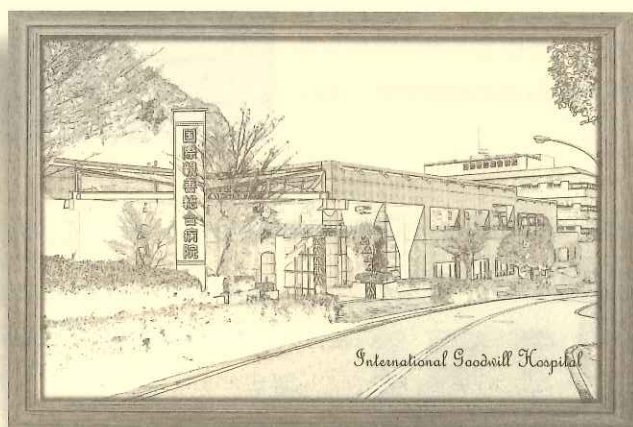


第230号

平成25年 8月10日

病院だより



当院の出来事 夏

広報委員会

『がん』だけではない!おなかの手術

Shigeaki Baba

馬場 誠朗

診療情報管理士の仕事

Yuko Satou

佐藤 裕子



国際親善総合病院

〒245-0006 横浜市泉区西が岡 1-28-1
TEL 045(813)0221 (代表)
FAX 045(813)7419 (総務課)

当院ホームページをご覧ください。

<http://shinzen.jp>



春 夏 当院の出来事 秋 冬

◎総合受付の移動について

再整備工事が一部終了し、6月17日(月)より総合受付の場所が移動になりました。ご来院の皆さまには工事完了まで引き続きご不便、ご迷惑をお掛けいたしますが、ご理解とご協力をお願い申し上げます。



◎ホームページリニューアルのお知らせ 公開日 6月20日



当院のホームページを皆さまに見やすさ使いやすさを目指して全面リニューアルをいたしました。皆さまにいち早く情報をお伝えできるようこれからも努力していきます。

URL <http://shinzen.jp/> ← 詳しくはWEBへ！

◎「看護フェスティバル」を開催いたしました！

6月21日(金)に毎年恒例となっております看護フェスティバルを開催いたしました。血圧・体脂肪・血糖測定や薬剤師・栄養士による相談コーナー、介護用品の展示等を行いました。ご参加いただいた皆さまの健康意識の高さが感じられました。



『がん』だけではない！ おなかの手術

～胆石・ヘルニア治療～

おなかの手術と言えは？

『がん』の治療を連想する方が多いのではないのでしょうか？

最近では医療が発達し『がん』と診断されても、手術以外の治療法がたくさん紹介されています。確かに手術以外の癌の治療法も増えてきています。しかし、手術が必要な患者さんはたくさんいるのです。

『がん』に対する手術以外の新しい治療が進歩しているのと同様に、手術も進歩しています。《手術＝おなかを切る》に違いはありません。従来からの開腹法、そして、おなかの中をカメラでみながら行う傷の小さな手術：腹腔鏡手術。さらには、一つの小さな傷で行うカメラを使った手術：単孔式腹腔鏡手術。同じ手術であっても、患者さんにより優しい、そして傷の小さく目立たないような工夫を施した手術が発達してきているのです。

今回は、『がん』ではないのに手術を必要とするおなかの代表的な病気、胆石症と鼠径（そけい）ヘルニアについて、予防、原因、治療法、手術の必要性、手術後の生活についてご紹介したいと思います。当院でのこの二つの病気に対する単孔式腹腔鏡手術の場合は、おへそに傷が残る程度の一つの小さな傷で手術を行っています。

胆石症とは、肝臓で作られた胆汁が流れる胆道に石（結石）が認められることをいいます。痛みなどの症状や胆嚢壁の肥厚があるときは治療(手術)が必要になります。次に、鼠径ヘルニアとは、鼠径部（下腹部の足の付け根あたり）の皮膚の下に腹壁の穴から、おなかの中の臓器（腸管や腸間膜）が逸脱する病気です。以前は脱腸と呼ばれていたものです。一度発症すると、嵌頓（腸が戻らなくなって、場合によっては腸が壊死してしまうこと）のリスクがあり、根治するために手術を行います。

いざ診察室に入ると、緊張して聞けないことがたくさんあるかもしれません。「なに？」「どうして？」「どうしたら良いの？」など、疑問に思うことを、どんどん聞いていただけるような健康懇話会にしたいと思います。

外科医長 馬場 誠朗

このテーマは

平成25年9月13日(金) 15:00から約1時間

の健康懇話会にて講演予定です。

（入場無料、予約不要、どなたでもご自由にご参加ください。）

診療情報管理士の仕事

当院では、3名の診療情報管理士が業務に当たっております。今回は、私たちの業務を簡単にご紹介いたします。

病院には、診療内容や病状、検査等を記録した「診療録」通称「カルテ」と呼ばれるものがあります。診療情報管理士は、診療記録及び診療情報を適切に管理し、そこに含まれる情報を活用することにより、医療の安全管理、質の向上及び病院の経営管理に寄与する専門的な職業です。



佐藤(左) 糸永(中) 石川(右)

業務内容としては、診療記録の点検・監査、コーディング、統計や分析等があります。診療記録の点検・監査は、傷病名・処置手術術式・記載事項・各種添付書類等の間に不整合がないか点検し、情報の精度向上、精度管理に努めています。不備・不整合・望ましくない表現があ

れば、医師及び看護師等へその内容の確認を行い、必要に応じて、訂正・追加を依頼します。また、多職種による診療録監査を定期的に行い、問題点を検討し、改善に努めています。

コーディングとは、診療録から得た各種記録を分類基準に基づいてコンピュータに登録し、個々の病気を分類する作業です。コーディングは、国連機関である世界保健機関（WHO）が管轄する国際的な疾病分類基準（通称「ICD」）に基づいた約14,000種類にも及ぶコードを使用し、病気を分類します。これによって作成された診療データを基に、統計や分析を行います。この統計や分析は、病院の様々な機能や診療の状況などを数値化しており、時間的な変化を評価・分析することにより、医療の質を向上させてより安全で、効果的な診療を提供できるようになります。

私たちは直接診療を行うわけではありませんが、診療情報を通じて皆さんの治療に参加できたいと思っています。

管理部医療情報課
診療情報管理 佐藤、糸永、石川